

# あいち農産物生産流通レポート

平成23年3月号

情報サロン		
・果皮が赤く、酸味の少ないかんきつ「蒲郡1号」を開発 しました	(農業総合試験場)	1
地域トピックス		
・養鶏農家で飼料米の利用が始まりました	(尾張農林水産事務所)	2
東日本情報		
・第60回関東東海花の展覧会が開催されました	(東京事務所)	3
西日本情報		
・平成22年度 第2回卸売市場活性化実務講座について	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・これから花き業界に携わる人へ	(株式会社フラワーオークションジャパン 平田 隆明)	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し		9
花 き		
・切花・鉢花の3月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2010年12月)		25
関連指数		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

## 果皮が赤く、酸味の少ないかんきつ「蒲郡1号」を開発しました

### 開発の背景

温州みかんは12月に出荷が集中することから、早期に出荷して市場で有利に販売できる愛知県オリジナルの品種開発が生産者から強く要望されてきました。

園芸研究部常緑果樹グループでは、昭和63年度から、ポピュラーな「宮川早生」にはない特徴を持った新品種の開発に取り組み、このたび11月中旬から出荷が可能で、果皮色が赤く、皮がむきやすいかんきつ「蒲郡1号」を開発しました。

### 「蒲郡1号」の特徴

かんきつ「蒲郡1号」は、極早生の温州みかん「千賀早生(宮川早生の枝変わり系統名)」に、果皮が赤橙色の「ページ」を交配し、選抜して育成した早生のかんきつ品種です。



温州みかん「宮川早生」に比較して、糖度は同程度ですが、クエン酸の減少が早いため、約2週間早い11月中旬から出荷が可能です。

果皮は鮮やかな赤橙色で、市場では他のみかんと差別化ができる品種です。

「蒲郡1号」と「宮川早生」の果実品質の違い(平成21年)

品種系統名	1果重 (g)	糖 (Brix)	クエン酸 (%)	1)			
				着色歩合	果皮色	2)	3)
					(カラーチャート)		
蒲郡1号	98.5	11.8	0.93	9.8	鮮赤橙	11.1	1.5
宮川早生	97.2	12.4	1.15	9.5	濃橙	8.9	0.5

1) 着色歩合: 無0 ~ 完全着色10

2) 果皮色: 数値が大きくなるほど赤みが強くなる。

3) 浮皮度: 0無、軽1、中2、甚3

### 普及に向けて

「蒲郡1号」は、平成22年12月14日に種苗法に基づく品種登録出願を行いました。平成23年春から東三河、知多地域などの産地で普及を図り、早ければ平成27年秋に店頭にも並ぶ予定です。

## 養鶏農家で飼料米の利用が始まりました

尾張農林水産事務所管内では、飼料の地産地消を求める養鶏農家と、水田利活用自給力向上事業を活用する稲作農家とが連携して飼料米の利用を始めましたので、その概要を紹介します。

### 飼料米の生産状況

今回飼料米として利用する品種は、飼料用米品種「モミロマン」と主食用品種「ゆめまつり」の2品種です。水稻農家での栽培結果は、「モミロマン」は、籾粒が大きいといった飼料用米品種の特徴がみられましたが、収量は目標値(800kg/10a)をやや下回りました。たんぱく質含量も目標値(8.5%)よりも少ない結果になりました。一方「ゆめまつり」は、収量、たんぱく質含量も目標値を確保することができました。

### 飼料米配合飼料の製造

飼料米は、配合飼料の50%を占めるトウモロコシの10%を代替として利用することとし、ME(代謝エネルギー)2.75Mcal/kg、CP(たんぱく質)16.6%の配合飼料(トウモロコシ40%+飼料米10%)を製造し、採卵鶏に2週間給餌する試験を行いました。

その結果、心配された飼料摂取量の落ち込みもなく、鶏の嗜好性、産卵には問題がありませんでした。

またゆで卵による食味調査でも、従来配合飼料の卵と有意な差はありませんでした。



### 今後の展開

今回、飼料の自給率向上を目指す養鶏農家では、飼料費を3円/kg低減することができました。稲作農家では、飼料用米品種よりも主食用品種を飼料米として生産する方が栽培管理はしやすいという意見が聞かれました。

飼料米の安定的需要があれば、稲作農家も生産を継続できる可能性があると考えられます。

## 第60回関東東海花の展覧会が開催されました

日本で最も歴史がある花の品評会「関東東海花の展覧会」が、2月11日（金）から13日（日）までサンシャインシティ文化会館（豊島区池袋）で開催されました。

この展覧会は、花に対する理解を深め、一層の消費拡大を図ることを目的として、関東、東海地区の1都11県（東京、神奈川、埼玉、千葉、静岡、愛知、茨城、群馬、栃木、岐阜、三重、山梨）が毎年開催しています。東京事務所では、首都圏における花き消費振興の観点から本展覧会の運營業務に協力しています。



入場者で賑わう会場

11日には、オープニングセレモニーが行われ、今年の当番県である埼玉県の上田知事のあいさつ、テープカットに続いて皇室（常陸宮妃殿下、高円宮妃殿下）の御観覧をいただき、その後一般に公開されました。

前日（10日）に行われた品評会では、カーネーション、キク、バラ、一般切り花、一般鉢物、花苗、観葉植物、球根切花、洋ランの9部門で、花型、草姿のバランス、病害虫や色の出方などの品質に加えて、市場性（商品性等）が審査され、入賞出品が決定されました。

今回の総出品点数は1,935点で、優れた品質を有する581点が入賞しました。

本県からは200点が出品され、9点が金賞を受賞し、そのうち2点が農林水産大臣賞を受賞しました。他には銀賞24点、銅賞38点の入賞がありました。

キク部門で農林水産大臣賞を受賞した碧南市の齊藤氏の一輪ギク「神馬」は、「ボリュームがあり、上位葉、下位葉の大きさが揃い、花とのバランスが優れている。花の揃いも良い」という点が評価されました。



輪ギク（神馬）

カーネーション部門で農林水産大臣賞を受賞した幡豆郡一色町の鳥居氏のスプレーカーネーション「シルエット」は、「花弁は丸く鮮明なライトピンクの花色が素晴らしい。花付き、揃いとも良好でバランスが整っている」という点が評価されました。

展覧会では、これらの品評会への出品物の展示に加えて、埼玉県による特別展示や、各県の展示も行われました。また、フラワーデザインコンテスト、フラワーアレンジメント、卓上ミニ盆栽及び花育に関する教室イベントなども催されました。

本県は、キクのブルームマムを主体としたフラワーアレンジや、農業総合試験場育成のカーネーション、県内の生産者が育成した鉢物類等の展示を行いました。



S Pカーネーション



愛知県の展示コーナー

展覧会の開催期間中は降雪で寒い日もありましたが、非常に多くの見物客が訪れました。客の中には、熱心に写真を撮ったり、花談義を楽しむ光景が随所で見られ、関心の高さが窺われました。

特に質の高い様々な種類の切り花や鉢花をみることができることから、毎年この展覧会を楽しみにしている客も多くみられます。

生産者にとっても、産地や生産者名が記された出品票がつけられており、生産者の実力をアピールする絶好の機会でもあることから、出品意欲が高く、入賞は生産の励みとなっています。

## 平成22年度 第2回卸売市場活性化実務講座について

卸売市場のせり人に対して、生鮮食料品等の流通等に関する幅広い知識を習得してもらうため、平成23年2月3日(木)に卸売市場活性化実務講座を愛知県三の丸庁舎で開催しました。当日は、岐阜大学応用生物科学部准教授の中野浩平氏を講師に「青果物の品質管理とブランド化」と題する講演をしていただきましたので、その内容を紹介します。

## 1 産官学連携による地域ブランド野菜の育成

## (1) 岐阜大学が開発した野菜「仙寿菜」の生産

新たな地域の特産物を求めていた美濃市及び市内の生産者と岐阜大学が、産官学連携でブランド化の取組みを行うこととなった。その取組の中で熱帯原産のアマランサスを品種改良し、赤色素を増強、活性酸素吸収能力を強化した。この品種を大学が「仙寿菜(せんじゅな)」として商標登録し、大学の栽培指導の下、美濃市で生産することとなった。



講演する中野氏

## (2) 販売促進の取組み

- ・鮮度保持のためのパッケージの活用と「仙寿菜」の色を生かしたデザイン、岐阜大のマーク貼付
- ・仙寿菜の色を生かした調理方法の紹介と地域の旅館・レストランでのレシピの開発(他の地元産品とのコラボレーション)
- ・QRコードを活用した生産工程の開示(こだわりスーパーでの販路確保)

## (3) ブランド化成功の黄金則

- ・地域独自の歴史やイメージ、固有の気象条件を活用
- ・品質管理や品質を保証する名称やマークの管理
- ・優れたマーケティング戦略

## 2 青果物の低温管理の重要性

## (1) エダマメの糖含量の変化

- ・エダマメの流通過程

集荷 予冷库(5 ) 包装・梱包 保管(5 ) 荷積み 冷蔵輸送  
卸売市場(常温管理)

以上のような流通過程の場合、包装・梱包と荷積みで一旦温度が上昇し、卸売市場でも温度が上昇する。

・エダマメの糖含量と積算温度の関係

糖含量は積算温度に反比例している。集荷時の糖含量を 100%とした場合、卸売市場での販売時は 69%まで低下するが、卸売市場で 5 日に低温管理した場合は 82%となる。

(2) 青果物はアイスクリーム

青果物は収穫後も呼吸をするため、時間の経過とともに鮮度が落ちていく。温度が上がると呼吸速度も増加するため、低温管理が重要となるので、青果物はアイスクリームと同様の管理が必要である。

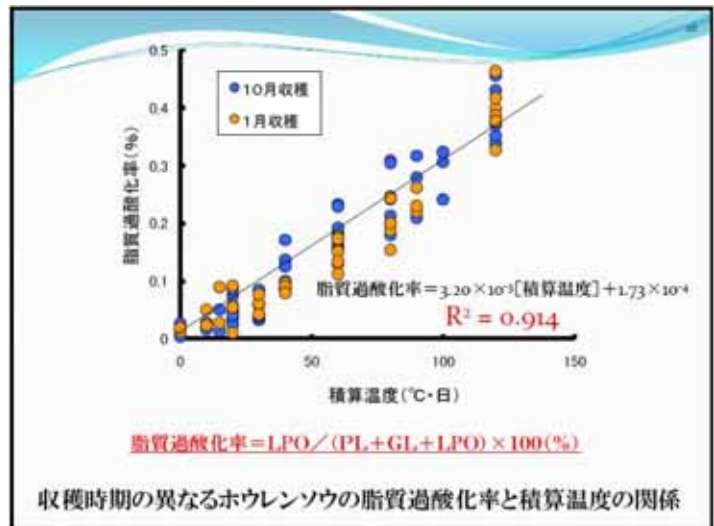
また、振動や衝撃によっても呼吸速度が増加するので、商品の取扱いにも十分気をつけることが大切である。

3 野菜鮮度測定法の開発

細胞膜の過酸化度を測ることにより、野菜の鮮度を判定する研究を行った。

脂質過酸化率と積算温度については、右の図のような相関があることから、脂質過酸化率を測定することにより、積算温度を推定することができる。

また、積算温度が高いほど鮮度が落ちることはこれまでの研究で明らかになっているため、脂質過酸化率から鮮度を判定することが可能となる。



4 まとめ

(1) 流通関係者に期待すること

- ・科学的根拠に裏打ちされた品質管理の徹底
- ・情報の流通（こだわり商品や農家の思い等を情報発信してほしい）

(2) ひとは食品を舌ではなく、脳で味わう。

- ・自然・風土のストーリー
- ・食と農のコミュニケーション
- ・栄養機能性
- ・採れたて・新鮮・安全
- ・美味しいとする科学的根拠

## これから花き業界に携わる人へ

私が花の業界に携わって、はや30年が経とうとしています。その間、花をつくれれば何でも売れた時代が何度も到来しました。

昭和の終わりから平成の初めに起こったバブル景気の時期には、花の価格は頂点を迎えて業界はわが世の春を謳歌し、その後はガーデニングブームが起こって、世間が不景気のどん底であえくなか、花業界だけは新しいブームを起こすことで生産量を増やしていきました。

ブームの終焉と同時に、花の単価は下がり始め、世間が「いざなぎ景気以上の好景気」を謳歌していると言われた時期でさえ、個人消費は縮小を続け、花は単価を落とし続けました。「花は高いもの」というイメージも壊れ始め、私たちは単価を維持する術を、いまだに模索し続けているのが現状です。また切花では、輸入量がますます増加して、国内産地にとって大きな脅威となっています。

現在、国内の花需要を高めるため、農林水産省をはじめ各団体がバレンタインに男性から花を贈ることを勧めた「本物のバレンタイン」という新しい取り組みも始まっています。しかし、日本の生活環境は欧米との違いがあまりに大きいため、すぐに効果が現れるわけではありません。継続して行うことで初めて結果につながる試みだと思えます。



フラワーバレンタイン推進委員会  
<http://flower-valentine.com/>

これから花に携わる人たちの財産はバブル景気を知らないこと、過去の成功体験に縛られないことです。変化する販売の流れにあわせ、ポジティブに対応していくことが、これからの花業界に携わる人材にとっては必要になります。

花は必需品ではありません。だからこそ、これから花業界を担う人たちの工夫しだいで、様々な販路ができてくると思えます。ぜひ、前向きな姿勢を忘れずに頑張ってください。



## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	177	169 (96%)	270	262	岐阜 (2%) 徳島 (2%)
23年見通し	180	—	270	—	
<b>入荷量及び卸売価格の概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
愛知産がほとんどで、知多市、稲沢市、愛西市を中心に入荷。 年明けの冷え込みはあったが日照は十分あったことから生育は順調で、平年通りの入荷を見込む。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。			景気の影響から外食等業務需要が低迷しており、一般向け需要も、手間のかかる調理を避ける若い人を中心に減少が続いている。 販売では、試食で美味しさをアピールしたり、調理法を普及するなど消費者の関心を高める取組みが必要となる。 春先の気温上昇に伴い品質劣化が起りやすいため、適時出荷をお願いしたい。		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	330	315 (96%)	314	308	群馬 (3%) 静岡 (0%)
23年見通し	340	—	310	—	注) 静岡はノブキ
<b>概 要 と 見 通 し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
本県産の入荷が大部分を占める。2月上旬から促成ものに切り替わり3月は入荷が本格化する。品質については問題ない。 2月の入荷は少なめで高値だったが、気温の上昇や天候安定で今後、量販店で春商材としての特売が増える見通し。群馬産は前年と同じように生育が若干遅れ気味。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。			本県産のふきは、春商材として、業務だけでなく量販店からの需要もある。調理済みの惣菜を購入する消費者も多いが、家庭での調理方法のPRも重要となる。 本県産促成ふきは柔らかくおいしいことから市場評価が高い。しかし高温期には傷みやとろけが出やすく市場評価を下げやすいので、出荷にあたっては切り口の処理など品質保持には特に注意して欲しい。		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年	37,491	193	188	199	191	愛知 26%
	19年	37,885	192	181	189	208	北海道 19%
	20年	34,903	209	220	208	200	鹿児島 9%
	21年	35,108	204	198	204	208	茨城 5%
	22年	35,111	213	209	217	214	
	5カ年平均	36,100	202	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	33,500	224	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知と土ものの北海道が中心。葉もの、果菜を中心とした低温による生育遅れからは回復しつつある。土ものは貯蔵品の計画入荷が続き、輸入量も増える見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
だいこん	18年	1,961	110	106	109	116	千葉 32%
	19年	1,919	79	55	73	114	静岡 22%
	20年	1,509	91	102	85	84	徳島 12%
	21年	1,698	81	74	76	92	神奈川 12%
	22年	1,741	89	74	82	114	
	5カ年平均	1,766	90	82	85	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,700	95	95	95	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は千葉、静岡中心の出荷となる。静岡が終盤を迎え千葉へ産地が移行する時期だが、千葉の生育が遅れているため、入荷量は一時的に減少する見込み。数年来単価安が続き、作付面積は減少している。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
にんじん	18年	2,274	136	121	139	148	愛知 59%
	19年	2,677	73	59	79	88	徳島 26%
	20年	2,087	169	160	170	177	鹿児島 13%
	21年	2,432	120	120	122	119	熊本 1%
	22年	2,092	96	84	98	104	
	5カ年平均	2,313	117	107	120	125	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,000	130	140	130	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知が中心で他に徳島、鹿児島。愛知は上中旬にピークを迎えるが1、2割少ない見込み。鹿児島は生育順調で上旬まで入荷、徳島は中旬以降出回り、7日程度生育が遅れている。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

2月18日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	18年	131,816	222	222	223	千葉	16%	
	19年	131,085	222	218	242	茨城	12%	
	20年	130,238	238	238	228	愛知	11%	
	21年	128,245	236	238	240	北海道	9%	
	22年	130,607	241	241	251	(愛知産比率 11%)		
	5ヵ年平均	130,398	232	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	23年見通し	130,300	235	-	-			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
前月に続き関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。2月に入り降雨や気温上昇があり、各産地とも生育遅れが回復傾向であるが貯蔵の土物を中心に量が少ない。入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。								
だいこ	18年	12,698	104	115	94	101	神奈川	63%
	19年	12,056	68	52	56	101	千葉	34%
	20年	12,123	86	103	80	74	徳島	1%
	21年	12,517	71	73	64	76	(愛知産比率 0%)	
	22年	12,617	86	84	76	99		
	5ヵ年平均	12,402	83	86	74	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	12,600	85	90	80	85		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
前月に引き続き関東産地からの入荷がほとんどを占める。神奈川の生育は2月の降雨で回復しており、出荷量は平年並みの見込み。千葉の生育は一部低温・乾燥の影響が残っているが概ね順調である。入荷量は前年並み、価格も前年並みの見込み。								
にんじん	18年	7,503	146	141	153	145	千葉	58%
	19年	8,554	77	73	74	84	徳島	21%
	20年	6,830	189	189	189	188	埼玉	10%
	21年	7,862	133	143	130	127	茨城	6%
	22年	8,086	94	89	89	104	(愛知産比率 1%)	
	5ヵ年平均	7,767	125	124	124	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	7,400	150	145	145	160		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
前月に続き千葉を中心とした関東産地からの入荷が多く、徳島からの入荷も始まる。千葉の生育は高温の影響が残り肥大のバラツキが見られる。徳島の生育は順調で増え始めるのは中旬となる見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。								

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量		卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
				上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	18年	2,356	72	70	75	72	兵庫	25%
	19年	2,411	77	61	79	90	愛知	24%
	20年	2,074	112	114	118	106	長崎	20%
	21年	2,096	103	92	106	111		
	22年	2,281	77	67	78	86		
	5ヵ年平均	2,243	87	80	90	92	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	23年見通し	2,000	100	90	100	110		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	産地は地元愛知と長野、兵庫中心。愛知は前年並みの出荷を見込む。長野は定植の時期に干ばつがあったことから生育が遅れている。兵庫の冷蔵物は、前年並みの入荷量が見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、単価は前年を大幅に上回る見込み。							
キャベツ	18年	4,343	64	61	68	63	愛知	96%
	19年	4,088	66	53	69	76	兵庫	2%
	20年	3,928	93	108	98	79	鹿児島	1%
	21年	3,869	85	77	83	93		
	22年	4,036	83	86	78	86		
	5ヵ年平均	4,053	78	77	79	79	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	23年見通し	4,000	90	90	90	90		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	産地は愛知中心で、兵庫が若干ある。愛知の春系は中旬から出回る見込み。低温と干ばつの影響で小玉傾向であるため、入荷量は少なく、高単価が見込まれる。気温の上昇と降雨で入荷量は安定する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。							
ほうれんそう	18年	556	225	192	200	289	愛知	78%
	19年	423	338	234	469	404	茨城	7%
	20年	532	218	332	159	173	群馬	5%
	21年	378	345	272	371	410	徳島	4%
	22年	363	381	234	441	582		
	5ヵ年平均	450	290	253	308	351	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	23年見通し	380	350	300	350	400		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	産地は地元愛知中心で不足を補う量が群馬、徳島、福岡等から入る。冬系は終盤を迎える。作付面積は前年並みだが、春系の生育は低温の影響で遅れている。価格は中下旬にかけて上がる見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	18年	8,294	68	60	67	81	茨城 55%
	19年	7,334	58	36	73	80	兵庫 29%
	20年	6,891	111	103	114	121	群馬 11%
	21年	7,509	98	86	92	119	埼玉 2%
	22年	8,686	59	44	56	85	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	7,743	78	65	79	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	7,800	80	70	75	95		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城が入荷の中心となり、兵庫、群馬がそれに続く。茨城は1月の低温・干ばつや2月の降雪で傷みと遅れが散見される。兵庫は年末からの低温・干ばつで小玉傾向である。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
キャベツ	18年	16,318	79	73	82	81	愛知 67%
	19年	15,468	79	64	82	92	千葉 16%
	20年	15,244	104	116	108	92	神奈川 14%
	21年	15,702	98	90	100	103	群馬 1%
	22年	16,757	97	96	92	104	(愛知産比率 67%)
	5カ年平均	15,898	91	88	93	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	16,700	95	90	95	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心となる。愛知の生育は2月の降雨と気温上昇で順調である。神奈川は春キャベツに切り替る時期で、生育は順調。千葉も低温・干ばつの影響が残り一部が小玉傾向。入荷量は前年並みで、価格も前年並みの見込み。</p>					
ほうれんそう	18年	1,988	271	208	282	336	茨城 29%
	19年	1,611	424	344	507	461	群馬 25%
	20年	1,912	289	322	260	283	埼玉 19%
	21年	1,498	402	409	393	403	千葉 19%
	22年	1,619	403	313	453	486	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	1,726	351	313	370	387	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	1,680	370	350	380	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷がほとんどを占める。茨城、千葉、群馬ともに低温・干ばつの影響がほとんど無くなり順調である。埼玉は低温、干ばつの影響が一部にあったが3月には回復する見込み。</p> <p>入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	18年	853	269	289	257	261	愛知 34%
	19年	981	235	227	241	239	大分 14%
	20年	889	446	463	448	427	静岡 12%
	21年	962	283	303	277	269	鳥取 8%
	22年	905	344	329	364	333	
ぎ	5カ年平均	918	314	320	316	304	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	850	350	350	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知の長ねぎと、大分、静岡、鳥取の白ねぎ。大分、静岡の生育・出荷は順調だが、鳥取は積雪のために入荷が少なく不安定。愛知の長ねぎも量が少なく、不安定な出荷となる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みとなる見込み。					
し た ス	18年	2,205	154	169	151	143	兵庫 40%
	19年	1,755	239	184	249	295	茨城 33%
	20年	1,897	194	253	197	151	熊本 9%
	21年	1,632	225	210	225	236	静岡 5%
	22年	1,772	232	206	220	277	
ス	5カ年平均	1,852	206	203	205	215	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,800	220	200	220	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は兵庫の淡路、茨城中心で、他に熊本、静岡。上旬から茨城、中旬から静岡が出回り、兵庫は春系に切り替わる時期。1月の低温と干ばつで小玉傾向。気温が上昇すれば下旬から入荷量増える見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。					
き ゆ う り	18年	1,442	340	491	314	257	愛知 49%
	19年	1,687	256	289	262	224	宮崎 18%
	20年	2,316	221	166	233	276	高知 16%
	21年	1,349	369	511	385	275	群馬 8%
	22年	1,298	376	362	484	302	
り	5カ年平均	1,619	299	339	319	266	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,300	320	350	320	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知と、高知、宮崎、群馬中心。愛知、高知は生育順調で入荷量増えるが、宮崎は入荷量少ない見込み。ひな祭り需要で上旬にかけて引合い強く堅調となる見込み。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	18年	4,723	232	271	216	210	千葉 42%
	19年	4,904	161	143	153	190	埼玉 30%
	20年	4,320	381	373	382	388	茨城 10%
	21年	4,829	183	215	160	170	中国 5%
	22年	4,434	317	317	329	301	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,642	251	260	244	248	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	4,500	280	290	270	280		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は気温の上昇とともに順調になる。埼玉は低温・雪や降雨で品質が悪くなっていたが気温上昇で回復の見込み。茨城の生育は低温・干ばつで停滞ぎみ。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
し た ス	18年	8,475	145	157	144	134	茨城 40%
	19年	7,106	214	168	213	271	静岡 17%
	20年	8,231	179	235	178	132	香川 12%
	21年	7,166	208	202	211	210	兵庫 8%
	22年	8,009	207	186	194	249	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	7,797	189	190	186	196	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	7,500	210	205	210	215		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、香川に代わり、茨城からの入荷が本格化してくる。茨城は低温・干ばつによる生育遅れが見られる地域もあるが気温上昇とともに回復する見込み。静岡は生育順調であるが、下旬には減少の見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
き ゆ う り	18年	6,052	362	556	304	276	群馬 20%
	19年	6,714	265	285	277	237	埼玉 18%
	20年	6,530	273	282	274	265	千葉 18%
	21年	5,806	398	542	396	311	宮崎 15%
	22年	5,780	392	388	488	313	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,176	334	405	344	279	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	5,900	350	380	350	320		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心。群馬は天候が安定すれば順調な出荷となる見込み。埼玉は低温の影響でやや遅れ気味。千葉は概ね順調な生育が見込まれる。入荷量は前年をわずかに上回り価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	18年	781	318	350	322	294	熊本 48%
	19年	953	292	296	286	291	愛知 47%
	20年	845	318	325	319	313	高知 2%
	21年	638	360	351	387	351	鹿児島 2%
	22年	719	330	312	339	337	
す	5ヵ年平均	787	321	325	326	314	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	750	320	320	320	320	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知の干両と熊本の長なす。育成期の低温で生育は遅れ気味で出荷は減少傾向、需要も停滞していたが、気温の上昇とともに需要も回復し、入荷量も増える見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。					
マ	18年	1,143	354	339	355	366	熊本 40%
	19年	1,142	414	408	397	437	愛知 36%
	20年	1,191	329	312	322	347	三重 13%
	21年	1,007	419	415	446	407	岐阜 8%
	22年	1,022	389	349	396	423	
ト	5ヵ年平均	1,101	379	363	381	395	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,050	350	300	350	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、熊本、三重中心で、愛知、熊本ともに低温の影響から回復しつつあり、生育は順調。日照が増えれば入荷量も増加する見込みだが、入荷量や時期にばらつきが出る見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
ミ	18年	229	680	740	668	637	熊本 52%
	19年	235	779	767	768	799	愛知 38%
	20年	248	680	673	704	668	和歌山 9%
	21年	227	791	821	925	694	
	22年	293	695	695	715	679	
ト	5ヵ年平均	247	723	736	753	695	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	280	700	750	700	650	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は熊本、愛知中心。上旬までは、着果数が少なく、着色も弱い見込みだが、中旬頃から日照時間が長くなるとともに入荷量も増える見込み。気温の上昇とともに需要も安定する見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。					



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	18年	3,266	372	388	374	357	高知 56%
	19年	3,767	339	364	337	320	福岡 17%
	20年	3,299	370	383	396	343	熊本 8%
	21年	2,717	418	425	440	400	佐賀 6%
	22年	2,596	402	367	421	417	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	3,129	377	384	389	363	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,650	395	390	400	395	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き西南暖地からの入荷が中心となる。高知はこのまま日照が増え気温上昇すれば順調な生育の見込み。福岡も天候の安定とともに生育は順調になっている。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
ト マ ト	18年	5,784	381	370	385	388	熊本 24%
	19年	5,852	445	440	414	476	栃木 21%
	20年	6,065	365	344	363	385	愛知 10%
	21年	5,052	478	473	493	473	茨城 9%
	22年	5,487	440	405	450	463	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	5,648	420	404	418	435	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,540	430	410	430	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。熊本は一部で病気が散見されるものの概ね順調。栃木は一部に空洞化見られるが、作柄は平年並み。愛知の生育は概ね順調。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	18年	967	635	721	616	584	熊本 33%
	19年	956	750	763	741	744	愛知 24%
	20年	918	668	649	681	673	宮崎 13%
	21年	910	786	848	945	659	千葉 12%
	22年	1,092	690	700	720	406	(愛知産比率 24%)
	5ヵ年平均	969	705	735	738	606	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	990	710	710	730	690	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き愛知、熊本からの入荷が中心となる。2月は天候不順の影響から出荷量が少なかった、その後天候も安定し熊本、愛知、千葉などの主産地の生育は概ね順調である。</p> <p>全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込みである。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	492	657	688	698	600	鹿児島 46%
	19年	586	539	588	562	480	宮崎 36%
	20年	590	496	542	479	426	高知 17%
	21年	371	802	782	846	788	
	22年	398	741	716	880	641	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	487	625	647	665	564	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	450	550	600	550	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は西南暖地中心。宮崎は噴火の影響が出る。重油代節減のためビニールハウスの換気がしにくく、葉落ちも出ている。全体では昨年、一昨年と高値が続いたが今年は平年より安値で推移する見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	18年	4,350	134	108	156	152	鹿児島 54%
	19年	3,349	143	135	142	152	北海道 44%
	20年	3,753	118	114	113	129	長崎 1%
	21年	3,812	131	127	143	126	
	22年	3,467	161	160	167	156	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	3,746	137	128	144	143	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	3,400	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道の貯蔵ものが終盤を迎え、鹿児島の春もの中心に移行する。北海道の残量は少ない見込み。長崎が若干。九州産地は生育順調で、前年並みの入荷量を見込む。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
たまねぎ	18年	5,387	100	110	110	86	北海道 80%
	19年	6,328	88	89	88	86	静岡 11%
	20年	5,587	80	77	81	81	愛知 4%
	21年	5,969	83	83	78	86	アメリカ 3%
	22年	6,309	109	115	117	97	
ね	5カ年平均	5,916	92	95	95	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,500	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道の貯蔵ものと、新玉ねぎの静岡、愛知が中心。北海道の計画出荷が春まで続くが2、3割少ない。静岡の入荷はピークを迎える。愛知は下旬から量が増える見込み。輸入ものも増えてくる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	1,608	666	698	715	606	茨城 41%
	19年	2,039	539	583	576	472	宮崎 30%
	20年	1,916	518	629	485	463	高知 16%
	21年	1,461	811	847	852	755	鹿児島 12%
	22年	1,452	732	719	873	609	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	1,695	638	684	680	568	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,500	630	630	650	610	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷に加え、茨城からの入荷が増える。茨城は害虫が散見されるものの生育は順調。宮崎、高知は天候の安定に伴い、順調な生育となっている。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	18年	8,040	126	122	125	132	北海道 66%
	19年	8,750	120	114	118	127	鹿児島 31%
	20年	9,988	102	101	103	102	長崎 3%
	21年	8,989	123	116	130	124	(愛知産比率 0%)
	22年	8,464	156	152	159	156	
いしょ	5カ年平均	8,846	125	120	126	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	8,100	160	155	165	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は計画出荷の終盤であるが、少なかった昨年よりさらに入荷量は少ない。鹿児島は遅れていた離島の出荷も加わり、やや小玉であるが昨年を上回る見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
たまねぎ	18年	9,861	111	111	112	110	北海道 64%
	19年	11,679	102	104	101	100	静岡 14%
	20年	10,940	95	92	96	98	米国 5%
	21年	11,059	99	92	98	105	長崎 4%
	22年	9,818	142	144	142	141	(愛知産比率 1%)
ねぎ	5カ年平均	10,671	109	108	109	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	9,700	150	155	150	145	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心で、静岡からの入荷が増加してくる。北海道は計画出荷の終盤に近づいているが、出荷量は不作で少ない見込み。静岡は適度な降雨と気温上昇で生育順調である。 入荷量は少なかった前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	18年	14,742	291	297	302	277	フィリピン 21%
	19年	11,627	373	385	366	366	青森 17%
	20年	11,219	321	315	316	333	愛媛 15%
	21年	10,735	320	322	318	321	愛知 9%
	22年	10,401	319	312	317	330	
	5カ年平均	11,745	323	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	10,000	340	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春の天候不順による花落ち・着果不良と、梅雨明け後の高温の影響で、果樹を中心に入荷は少なくなる見込み。中心となるかんきつも裏年で前年の1割減と数量不足。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
かんきつ	18年	5,240	187	182	184	201	愛媛 31%
	19年	4,259	276	268	278	290	アメリカ 13%
	20年	4,634	188	191	185	193	和歌山 12%
	21年	3,919	223	219	227	233	熊本 10%
	22年	4,276	201	189	203	221	
	5カ年平均	4,465	213	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,000	250	250	250	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛媛、熊本、静岡、徳島中心。みかんは貯蔵もの中心で、裏年と夏場の高温から量は少ない。いよかんの入荷量は平年より1割以上減少、しらぬいは量増える見込みで高単価が続く。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
いちご	18年	1,845	901	1,060	885	796	愛知 59%
	19年	1,745	929	1,149	912	757	熊本 21%
	20年	1,686	852	876	840	841	鹿児島 10%
	21年	1,393	921	1,036	1,034	770	三重 5%
	22年	1,283	965	951	1,037	910	
	5カ年平均	1,591	911	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,300	950	950	1,000	900	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、他に熊本、鹿児島。愛知は上中旬に3番果のピークを迎えるが、量は少ない見込み。品質は良く、気温の上昇に伴い入荷量は増える見込み。 入荷量は前年並みで、価格も安かった前年並みとなる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	18年	41,594	349	353	398	399	愛媛 20%
	19年	37,045	420	436	412	410	青森 18%
	20年	38,945	349	343	349	356	フィリピン 12%
	21年	38,540	349	351	349	347	熊本 7%
	22年	39,373	326	315	329	333	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	39,099	358	-	-	-	前年及び本年の
	23年見通し	36,000	400	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>りんご、中晩柑、いちご中心に入荷する。みかん類は終盤となる。中晩柑の「不知火」「いよかん」は低温障害の影響で小玉傾向で入荷量は少ない見通し。総入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回ると見込まれる。</p>					
り ん ご	18年	6,760	236	232	238	237	青森 98%
	19年	7,696	262	256	263	268	長野 1%
	20年	6,705	258	257	261	257	秋田 0%
	21年	7,907	216	210	218	219	山形 0%
	22年	7,230	238	234	240	238	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	7,260	242	237	244	244	前年及び本年の
	23年見通し	7,300	225	220	225	230	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森から「ふじ」の貯蔵もの中心に入荷する。産地在庫は前年よりやや多い。果皮の着色程度は前年よりやや落ちるが、大玉傾向で食味も良好である。一方で、販売環境は厳しい状況にある。入荷量は前年並みで、価格は前年やや下回る見込み。</p>					
い ち ご	18年	6,760	984	1,141	987	872	栃木 31%
	19年	6,503	988	1,207	987	810	福岡 17%
	20年	6,269	923	937	913	918	佐賀 15%
	21年	5,368	1,015	1,189	1,071	866	茨城 12%
	22年	4,696	1,024	1,018	1,150	918	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	5,919	984	1,101	1,012	874	前年及び本年の
	23年見通し	4,800	1,000	1,050	1,000	950	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀から入荷する。栃木の3番果は3月中旬以降、出荷量が増える見込み。福岡は遅れていた2番果が2月下旬に増加し、3番果は3月中旬以降増加する。佐賀もやや遅れ、3月中旬以降増加する見通し。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回るものと見込まれる。</p>					

# 切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 2月23日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	18年	3,736	64	
		19年	3,485	61	
		20年	3,358	61	
		21年	3,024	63	
		22年	3,023	63	
	5ヶ年平均		3,325	62	
	23年見通し		3,150	60	
概要	愛知、三重、沖縄を中心に入荷。主力の愛知では天候が安定していることから順調に推移しているが、低温により生育が3日ほど遅れている。沖縄も低温で7日程度の遅れがでているため、色ものについては入荷が不安定になると思われる。				
小 ぎ	実績	18年	3,273	31	
		19年	2,880	38	
		20年	2,772	34	
		21年	2,742	35	
		22年	2,669	34	
	5ヶ年平均		2,867	34	
	23年見通し		2,700	35	
概要	沖縄を中心に入荷。沖縄は平年になく低温が続き不安定な入荷が続いたが、前月から気温も回復し彼岸需要までには入荷は持ち直す見込み。色によって量は偏り、特に赤は少なめで推移する見込み。				
カー ネー ション	実績	18年	1,707	45	
		19年	1,485	54	
		20年	1,642	40	
		21年	1,462	47	
		22年	1,348	47	
	5ヶ年平均		1,529	46	
	23年見通し		1,450	46	
概要	愛知、和歌山を中心に入荷。前月は低温の影響で入荷量が減少したが、気温の上昇とともに徐々に抑制ものが入り入荷量は増加する。卒業式、彼岸等需要により堅調な動きが期待される。				
か すみ	実績	18年	375	68	
		19年	280	91	
		20年	357	63	
		21年	309	67	
		22年	275	74	
	5ヶ年平均		319	72	
	23年見通し		300	70	
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。各産地とも順調な入荷が予想される。前月までは行事等が少なく業務中心の重要だったが、今月は一般需要も増えるため、上位・下位等級とも荷動きは良くなり引き合い強く、堅調に推移する見込み。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	18年	458	184	
		19年	391	212	
		20年	437	182	
		21年	386	188	
		22年	322	212	
5ヶ年平均		399	194		
23年見通し		400	190		
概要		高知、愛知、岐阜、静岡、埼玉等から入荷。てっぼうは作付けが減少しており、彼岸需要の引き合いも強く価格も安定。LA、すかしゆり、オリエンタル系は彼岸頃に出荷が集中する見込み。彼岸、卒業、歓送等行事も多く、堅調な動きが予想される。			
洋らん	実績	18年	530	74	
		19年	487	81	
		20年	409	94	
		21年	385	89	
		22年	311	111	
5ヶ年平均		424	88		
23年見通し		400	85		
概要		徳島、愛知、高知及び輸入物が入荷。カトレアの入荷量は減少し価格も堅調となるが、コショウランは季咲きの時期で入荷量は増加し、低調な展開が予想される。シンビジウムも気温の上昇に伴い減少傾向。デンファレ、オンシジウムは前年並みで推移する見込み。			
ばら	実績	18年	993	94	
		19年	1,035	89	
		20年	909	97	
		21年	1,007	94	
		22年	937	108	
5ヶ年平均		976	96		
23年見通し		980	94		
概要		愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷。前月前半から低温の影響から回復して上旬はやや多めの入荷量となるが、卒業式、歓送迎会等一般需要が増加することから、堅調な動きが予想される。			
枝も	実績	18年	1,967	43	
		19年	1,840	45	
		20年	1,747	44	
		21年	1,529	46	
		22年	1,543	46	
5ヶ年平均		1,725	45		
23年見通し		1,550	44		
概要		長野、静岡を中心に入荷。中心となるのは促成もののサクラ、コデマリ。中旬からは彼岸需要でシキミ、サカキ、チラサキが、下旬には卒業式向けにボタン、レンギョ、サクラが入荷され、需要に合った花材の引き合いが強くなる。			

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラミ	実績	18年	18,541	553	
		19年	16,275	489	
		20年	13,789	551	
		21年	10,378	580	
		22年	8,571	465	
	5ヶ年平均		13,511	530	
	23年見通し		7,000	450	
概要	昨年同様、生産量の減少に伴い入荷量も減少か。5号鉢を中心に中旬以降から入荷増となりそう。単価は厳しそう。 昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(58%)、2位長野(15%)、3位三重(13%)となっている。				
ファレス	実績	18年	41,212	3,009	
		19年	38,908	3,283	
		20年	41,043	2,902	
		21年	34,247	3,155	
		22年	37,098	3,011	
	5ヶ年平均		38,502	3,068	
	23年見通し		38,000	3,000	
概要	入荷量は増加か。この月は卒業式等のイベントがあるので大輪、中輪系ともイベントシーズン用の商品構成となりそう。単価は厳しそう。 昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(60%)、2位静岡(10%)、3位宮崎(6%)となっている。				
バラ	実績	18年	100,296	216	
		19年	90,695	221	
		20年	97,856	227	
		21年	95,017	217	
		22年	98,165	244	
	5ヶ年平均		96,406	225	
	23年見通し		98,000	220	
概要	入荷量は昨年並みか。大輪品種は多くの種類がリリースされるので期待大。反面ミニバラ系(3.5号鉢)は、かなり厳しそう。 昨年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(47%)、2位愛知(45%)、3位三重(4%)となっている。				



単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	18年	108,684	243	
		19年	95,159	231	
		20年	109,679	188	
		21年	76,721	217	
		22年	95,412	222	
	5ヶ年平均	97,131	220		
	23年見通し	76,000	220		
概要	<p>入荷量は減少か。この月は卒業式等のイベントがあるのでかなりの需要が期待される。今年は5号鉢より、4号鉢の引き合いが強くなることが予想され、4号鉢は品薄状態か。昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(33%)、2位埼玉(17%)、3位奈良(17%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	18年	133,954	117	
		19年	124,529	134	
		20年	124,021	118	
		21年	100,148	123	
		22年	84,455	141	
	5ヶ年平均	113,421	126		
	23年見通し	90,000	130		
概要	<p>入荷量は増加か。各メーカーのバリエーションが増加傾向にあるので、品種は豊富か。この時期は4号鉢が好まれるので、この鉢サイズを中心とした構成となりそう。単価は厳しそう。昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(24%)、2位静岡(17%)、3位岐阜(15%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	18年	69,475	710	
		19年	60,395	763	
		20年	64,144	663	
		21年	47,287	711	
		22年	45,928	707	
	5ヶ年平均	57,446	710		
	23年見通し	47,000	700		
概要	<p>入荷量は増加か。昨年の猛暑の影響で、バブル(茎)の節間が短くなり、逆に花が綺麗に見える様な感じである。単価は厳しそう。昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(65%)、2位岡山(10%)、3位高知(7%)となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績(2010年)

## 1 輸入実績

品名	1 2 月						1 2 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	95,172	170.8	7,918,107	145.4	83	80.3	756,742	137	75,401,923	131	100	95.6
トマト	190	96.2	65,720	105.0	346	122.8	2,971	127	1,041,823	164	351	128.9
たまねぎ	45,384	218.6	2,006,088	252.6	44	119.5	339,477	164	14,394,665	183	42	111.7
にんにく	1,499	91.6	344,949	138.7	230	235.9	18,557	94	3,564,613	172	192	183.9
ねぎ	5,594	176.5	557,360	188.0	100	122.3	50,188	154	4,807,477	147	96	95.2
ブロッコリー	893	97.8	166,610	107.4	187	112.9	35,683	121	6,022,437	125	169	103.7
結球キャベツ	4,264	2212.7	157,752	2106.2	37	120.0	23,368	179	860,199	183	37	102.3
にんじん・かぶ	5,991	309.8	296,426	437.2	49	140.4	65,187	156	2,800,325	132	43	84.8
ごぼう	3,959	123.4	336,023	225.2	85	213.8	36,866	101	2,270,122	142	62	141.0
えんどう	277	114.8	109,758	170.8	396	176.1	1,984	181	582,450	238	294	131.7
アスパラガス	998	99.1	647,987	95.5	649	93.7	12,538	116	6,561,975	110	523	94.3
まつたけ	17	66.2	59,434	74.3	3,436	77.5	2,044	128	6,317,125	99	3,090	77.6
しいたけ	832	91.7	204,236	94.9	245	105.8	5,616	119	1,423,983	129	254	108.2
かぼちゃ	19,958	118.0	1,411,824	118.7	71	90.0	106,355	101	7,243,123	113	68	112.2
果実(生鮮・乾燥)	133,235	99.9	14,356,028	112.9	108	100.8	1,894,771	95	220,028,579	99	116	104.0
バナナ	78,410	90.8	4,159,679	89.1	53	79.2	1,109,068	89	73,873,816	80	67	90.4
パイナップル	14,413	109.3	780,548	107.0	54	96.4	142,577	99	8,869,337	98	62	99.2
レモン	5,749	218.2	840,563	250.7	146	118.5	52,594	102	6,839,930	115	130	112.4
オレンジ	1,587	56.1	172,544	60.6	109	96.6	109,940	116	11,011,835	120	100	102.9
グレープフルーツ	12,221	116.5	1,305,256	115.6	107	93.6	174,771	98	16,358,040	103	94	105.8
メロン	1,833	99.6	198,180	89.2	108	93.9	29,518	100	2,919,097	94	99	93.9
ぶどう	1,260	176.6	320,171	173.5	254	96.0	12,625	167	2,483,877	178	197	106.3
キウイ	294	-	80,805	-	275	110.1	62,963	108	21,044,942	107	334	99.5
いちご	64	272.0	56,204	244.9	875	82.7	3,258	109	2,666,262	100	818	92.1
切花(生鮮・乾燥)	5,562	121.6	3,876,943	121.2	697	93.3	44,145	114	32,391,500	114	734	99.9
鳥獣肉類	145,990	102.8	62,067,912	107.2	425	91.6	1,756,036	110	742,314,774	109	423	99.3
牛肉(くず肉含む)	46,007	107.6	18,378,470	113.9	399	96.4	500,345	104	200,654,432	108	401	103.6
豚肉(くず肉含む)	59,988	97.7	31,399,285	97.6	523	99.6	753,128	107	394,921,682	107	524	100.1
鶏肉	33,426	103.8	7,970,651	135.5	238	66.5	420,253	127	95,634,365	124	228	97.7
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	178,434	100.0	92,983,326	109.1	521	95.4	1,821,046	142	939,114,961	102	516	98.9
まぐろ類	19,726	98.9	15,365,861	97.0	779	92.9	218,410	104	164,606,829	90	754	87.2
さば・さんま・あじ・いわし	23,548	94.3	4,353,932	96.7	185	76.4	129,069	110	22,936,368	114	178	103.0

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	4,505	84.9	1,645,413	118.1	365	125.9	27,195	95	9,177,813	109	337	114.4
うんしゅうみかん	169	78.6	52,986	134.2	314	116.5	2,227	84	345,115	97	155	115.4
りんご	4,072	84.5	1,373,442	114.8	337	123.5	21,075	101	6,409,331	118	304	117.5
なし	47	254.3	24,807	254.0	529	109.4	702	42	358,083	53	510	126.5
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	395,153	110.9	-	-	-	-	2,930,939	96	-	-
緑茶	227	120.6	388,975	123.1	1,716	91.9	2,232	114	4,241,675	124	1,900	108.7

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	21年平均	100.3	103.3	98.9	105.6	104.4
	22年 8月	99.5	114.3	114.0	103.6	103.3
	9月	99.8	123.2	122.8	103.4	104.2
	10月	100.2	127.5	121.8	103.4	101.7
	11月	99.9	121.1	110.0	103.6	101.8
	12月	99.6	107.3	109.8	103.7	102.8
	21年平均	100.9	100.6	100.0	102.4	103.6
愛 知 県	22年 8月	99.6	109.7	111.3	98.8	99.0
	9月	99.7	116.7	114.8	100.7	102.1
	10月	99.8	118.7	109.9	100.2	97.0
	11月	99.6	113.8	104.5	103.1	96.6
	12月	99.2	98.9	105.3	102.6	97.1

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	21年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	22年 8月	98.6	96.4	102.8	121.5	99.2
	9月	106.3	93.0	129.3	119.3	100.6
	10月	103.3	89.8	128.6	114.0	100.0
	11月	110.2	87.7	139.2	154.8	99.5
	12月	100.8	87.3	108.0	141.0	104.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
21年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
22年 8月	1,937	168	194	745	496	377	183	442	218	473	592	139	-
9月	1,941	140	245	791	485	322	175	428	226	536	846	166	-
10月	1,895	176	209	845	711	311	179	379	238	567	882	172	-
11月	1,845	281	210	795	480	358	193	383	261	665	761	167	492
12月	1,810	168	147	666	364	331	122	340	294	553	577	159	470
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
21年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
22年 8月	-	284	381	-	219	721	569	157	186	289	209	724	409
9月	906	291	365	-	234	735	563	154	178	288	215	742	412
10月	547	321	402	-	220	762	559	155	167	296	225	723	403
11月	504	317	376	-	202	729	556	154	167	297	230	820	408
12月	525	350	385	169	203	764	558	149	169	331	213	865	399

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 453  
平成23年3月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6417